

真理の証明者 ～ 『懸け橋』の原点 ～

2025 年 1 月 14 日早朝、輝く満月を眺め感動した。何故、宇宙には『生物(人間を含め)が住む地球』が存在するのであろうか？『いかなる時代においても真理の証明者を残す』(内村鑑三:1861～1930)の言葉が鮮明に甦った。筆者は講演会で時々【『かぐや姫(『竹取物語』の登場人物である月人の女性)』の現代的意義を述べよ！】との宿題を冗談ぽく出す。『樋野動物園』2 号の表紙(添付)は『宇宙から地球上の動物を眺める園長(筆者)の姿』とのことである。『ユーモア(you more)溢れる、冗談を本気でする胆力』には感服した。

筆者は若き日『空海(774～835)(真言宗)、最澄(766 or 767～822)(天台宗)』は、遣唐使として留学している。【空海は新約聖書、最澄は旧約聖書を日本に持ち帰った。また 聖徳太子(574-622)の『17 条憲法』、親鸞(1173～1262)の『歎異抄』には聖書的な言葉もありますね！？】と聞いたものである。法然(1133～1212)の『浄土宗』の檀家で生まれた筆者は、青春時代、浄土宗の開祖 法然に関する本、弟子の浄土真宗の宗祖 親鸞の教えの『歎異抄』を熟読したものである。まさに、【『聖徳太子、空海、最澄、道元(1200～1253)、法然、親鸞』&『イエス(1～33)』の『懸け橋』が日本文化の原点】ではなかろうか！それが、内村鑑三の『代表的日本人』(1894 年)と新渡戸稲造(1862～1933)の『武士道』(1900 年)に繋がった。『筆者の人生の原点』でもある。

2024 年 6 月 9 日【がん哲学外来『あんしんカフェてんねい』3 周年記念講演会&ライブ】(東京都青梅市にある曹洞宗の『天寧寺(てんねいじ)』)に赴いた(添付)。【がん哲学外来『あんしんカフェてんねい』】代表は沖悦子氏(『天寧寺』の住職の奥様)である。会場には多数の参加者であった。『天寧寺』は鎌倉時代の道元(中国の宗に渡り、1227 年に帰国)のゆかりの鎌倉時代に始まる曹洞宗の寺院である。『お寺でも がん哲学外来カフェを始めよう』が、製作中のようである。大いに楽しみである。

筆者は、2019 年『教会でも がん哲学外来カフェを始めよう』(日本キリスト教団出版局)の編集の機会が与えられたものである(画像)。

樋野動物園 2号



宇宙から地球上の動物を眺める

『樋野動物園』園長

個性と多様性

樋野動物園出版局

がん哲学外来 あんしんカフェ てんねい 3周年記念講演会 & ライブ

令和6年6月9日(日)

- 13:30～開場
- 入場無料(要予約)
- 会場:天寧寺本堂
青梅市根ヶ布1丁目454
★駐車場あります

ご予約はこちらから(定員 50 名)

anshincafetennei@gmail.com
0428-22-3566(天寧寺)



◎14:00～

一般社団法人がん哲学外来名誉理事長

樋野興夫先生記念講演



樋野興夫(ひのおきお、1954年島根県生まれ)医学博士。
順天堂大学名誉教授、恵泉女子学園理事長、新渡戸稲造記念センター長。
2008年、「がん哲学外来」を開設。癌で不安を抱えた患者と家族を
対話を通じて支援する個人面談を行っている。

がん哲学外来ウェブサイト <https://gantetsugaku.org>



◎15:00～

カテリーナ古楽合奏団

中世ルネサンス音楽会



1973年、松本雅隆により結成される。中世・ルネサンス時代の音楽を
独自のスタイルで演奏し現在に至る。79年LPレコード「古楽の調べ」
発売。86年・88年、坂東玉三郎演出の「ロミオとジュリエット」に
楽師として出演。95年、ラジオドラマ「宮崎駿の雑想ノート」の音楽を
担当。96年、CD「ドククチャ」が、映画「絵の中のぼくの村」の音楽
映画として起用される。97年、ベルギー、ドイツ、イタリアにて公演。
2010年、Bunkamura ザ・ミュージアム「ブリューゲル版画の世界展」
でコンサートを開催。22年、東映70周年記念作品『THE LEGEND &
BUTTERFLY』にてルネサンス音楽を提供する。「ロバの音楽座」の
姉妹合奏団。通常は6人編成ですが今回は3人編成でお届けします。

※ライブ終了後に樋野先生との個人面談ができます。
ご希望の方はご予約ください。(2,3組)

教会でも がん哲学外来カフェを 始めよう

Okio Hino
樋野興夫 編著



「がん哲学外来」
創設者
樋野興夫氏が
おくる

苦悩に寄り添い共感する場が、 圧倒的に不足しています

私の夢は人口1万5000人にひとつ、カフェがあることです。
そのためには日本全国に7000のカフェが必要です。
それは奇しくも、日本全国にある教会の数でもあるのです。

日本キリスト教団出版局